

2022年10月27日

各 位

会社名 サイオス株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫
(コード番号3744 東証スタンダード市場)
問合せ先 IRサービスラインヘッド 近藤 秀昭
電 話 03-6401-5111

新規事業の進捗に関するお知らせ

当社グループは2018年より、今後成長が見込まれるライフサイエンスや、医療領域のデジタルトランスフォーメーション(*1)を含むMed Tech(*2)分野への進出に取り組んでまいりました。具体的にはエピゲノムのクラウド(*3)解析プラットフォームに関する研究、大学病院との共同研究等に取り組んでまいりました。加えて当期におきまして、精神科病院向け電子カルテサービスのリリースおよびオンライン配薬サービスへの取り組みを開始しました。

今般、以下の通り、これらの取り組みの進捗状況と今後の見通しについてお知らせします。

記

1. 事業の進捗について

(1) 精神科病院向け電子カルテサービス

①現在の進捗状況

当社連結子会社のサイオステクノロジー株式会社は、医療法人社団成仁(本社:東京都足立区、理事長:片山 成仁、以下「成仁」)の監修・設計のもと、精神科病院向け電子カルテサービス「INDIGO NOTE(インディゴノート)」を開発してまいりました。

従来の電子カルテサービスは独自のデータ保存形式で管理するものが主流でしたが、当社調べでは「INDIGO NOTE」は次世代医療情報交換規約「HL7®FHIR®(Fast Healthcare Interoperability Resource)」(*4)に日本で初めて完全準拠する電子カルテサービスです。同サービスは、Google Cloud(*5)を利用したフルクラウドサービスであり、オンプレミス(*6)サービスに比べ、高い可用性を実現するとともに、安定した病院運営に寄与することができます。また、保健医療情報分野の標準規格(厚生労働省標準規格)に基づいて検査、処方、病名等を記述するため、データの二次利用性も確保しています。

現在、成仁の運営する精神科病院での本格稼働に向けて準備を進めています。

【INDIGO NOTEのウェブサイトURL】<https://www.indigonote.com/>

②今後の予定

成仁の運営する精神科病院での本格稼働後、その他の精神科病院にも同サービスを販売していく予定です。

(2) オンライン配薬サービス

①株式会社ユビキタス・メディカルズの設立

2022年1月28日付で、当社、片山 成仁氏（医療法人社団成仁 理事長）及びBlue Cross Med 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：田中 建）は合弁会社「株式会社ユビキタス・メディカルズ」（以下「UM社」）を設立しました。UM社では、人々が健康的な生活を営むために、一人でも多くの人々が利便性と健康を享受するためのサービスを提供し、皆保険制度の恒久的な維持に貢献することを目的として、最新のICT（Information and Communication Technology）を利活用したスマートデバイス等のデジタルヘルス機器やアプリケーションを開発しています。

②現在の進捗状況

2022年4月の診療報酬改定における遠隔診療の規制緩和を受け、UM社は同年5月よりオンライン配薬サービス「国医楽薬」の開発を開始し、同年8月22日より提供開始しました。UM社のメディカルチームには、我が国の医療を研究や臨床だけでなく、政策面でもリードしてきた医師等が在籍しています。その豊富な知見と経験を基に同サービスの開発を継続してまいります。

【国医楽薬のウェブサイト URL】 <https://www.dr-rakuyaku.com/>

③今後の予定

同サービスは、当面、自由診療のみを対象としますが、2023年以降には保険診療も対象とする予定です。同サービスでは、利用者の生活の質を高め得る薬剤を用意し、従来の自由診療より廉価な費用での受診を実現してまいります。また、今後、同サービスに参加頂ける医療機関を募る予定です。

④UM 社の会社概要

(a) 商号	株式会社ユビキタス・メディカルズ (URL) https://www.ub-medicals.com/	
(b) 所在地	東京都港区南麻布 2-12-3 サイオスビル	
(c) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森田 昇	
(d) 事業内容	オンライン配薬サービス等の開発・提供	
(e) 資本金	60 百万円 (資本金 45 百万円、資本準備金 15 百万円)	
(f) 設立年月日	2022 年 1 月 28 日	
(g) 大株主及び持株比率	当社 33.33%、片山 成仁 33.33%、 Blue Cross Med 株式会社 33.33%	
(h) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は 33.33%の持分を保有しています。
	人的関係	当社取締役の森田 昇が当該会社の代表取締役社長を、当社代表取締役社長の喜多伸夫が当該会社の取締役を兼務しています。
	取引関係	当社は当該会社に対してバックオフィス業務を提供しています。
	関連当事者への該当状況	当社の関連当事者 (関連会社) に該当します。

2. 今後の見通しについて

当該事業の進捗により、今後、当社の当期業績または来期以降の業績予想数値に対し、大きく影響が生じることとなった場合には、その影響額が算定可能となり次第、速やかに公表します。

(*1) デジタルトランスフォーメーション

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(*2) Med Tech

Medical (医療) と Technology (技術) を組み合わせた造語。

(*3) クラウド

利用者がサーバーやソフトウェアなどを保有せず、ネットワーク経由でサービスを利用する形態。

(*4) HL7®FHIR® (Fast Healthcare Interoperability Resource)

医療情報交換のための実装しやすい新しい標準規格。

(*5) Google Cloud

Google が提供しているクラウドコンピューティングサービスの総称。

(*6) オンプレミス

利用者がサーバーやソフトウェアなどを保有し、運用する形態。

以 上